

諏訪湖クラブニュース

NO. 36 2023年7月

もくじ

- 所感 沖野外輝夫
- 諏訪湖クラブ令和5年度定期総会報告
- 諏訪湖の砥川河口の砂洲にやってきた渡り鳥
- 知って楽しいカワセミの暮らし
- オオワシ「グル」の記録・紙芝居の完成に寄せて
- 小さな変化—大きな変化
- 44年間続けた保護司を退任しました
- 林フク子さんをしのび追悼絵手紙展開催
- タンポポの不思議
- 理事会報告



セイタカシギ（砥川河口にて）

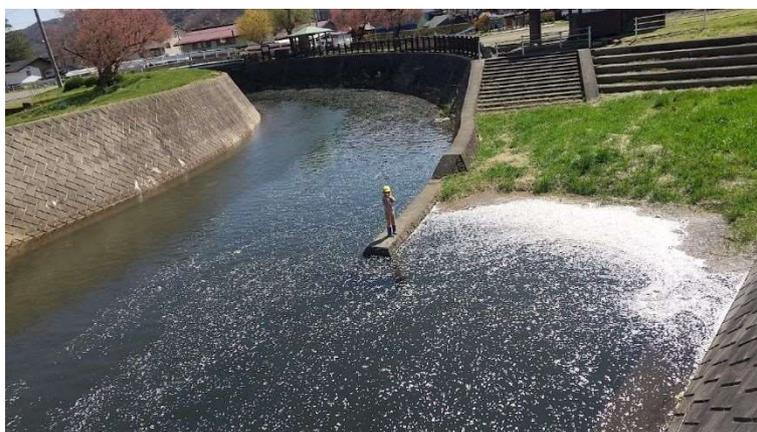
所 感

会長 沖野外輝夫

令和5年の春は半月以上も早くサクラの開花宣言があり、諏訪地方の桜も3月中には開花、これも地球温暖化による異常気象の影響かと心配になる今年の春の訪れでした。案の定、その後の気象は春を飛び越えて夏のような日が続いたり、また春先に戻ったりと安定しない天候が続いています。諏訪湖のワカサギも河川への遡上が思わしくなく、採卵、養殖作業も昨年に続いて不調の様子です。人間活動の影響が地球全体の自然環境に影響することは分かっていますが、これほどに身近な環境にまで不測の変化を及ぼすとは思わなかった今年の幕開けです。

昨年は「諏訪湖創生ビジョン」の計画見直しの年で、諏訪湖クラブにとっても何かと気ぜわしい一年でした。見直しでも真の意味での公民協働の取り組みを実践的に模索してきましたが、これからが本番となります。具体的な課題としての「しゅんせつ」が最初の試練になりますが、自然環境にとっては課題も多い工事でもあり、その取り組みには慎重さが必要です。諏訪湖クラブの会員の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

諏訪湖クラブの副会長として支えていただいている小林聖仁さんが、社会活動の中でも大変なお仕事である保護司を44年間勤められ退任されることになりました。以前にも諏訪湖クラブの総会で、保護司としての講演をいただき、並々ならぬ取り組みのお話を頂きました。真摯より敬意を表します。また、諏訪湖クラブ一同としても誇りに思います。引き続き更生保護法人全国保護司連盟や更生保護関係団体等の役職は続けられるとのこと、お体をご愛され活躍されることを願っています。



今年の桜は大分早くに咲き始めました。宮川の上流の桜が散り、令和5年4月10日には、沢山の花びらが帯状に流れてきました。

令和5年度諏訪湖クラブ通常総会

令和5年(2023年)6月4日(日)
諏訪市駅前テラス
すわっチャオ会議室3

令和5年度 諏訪湖クラブ定期総会 次第

1. 開会 14:30
2. 会長挨拶 沖野外輝夫
3. 総会成立宣言 出席者 17名 委任状 36名 正会員 82名
4. 議事
 - (1) 第1号議案 令和4年度 事業報告 …承認
 - (2) 第2号議案 令和4年度 会計報告
〈会計監査報告〉 …承認
 - (3) 第3号議案 役員改選(案) …承認
 - (4) 第4号議案 令和5年度 事業計画(案) …承認
 - (5) 第5号議案 令和5年度 予算(案) …承認
 - (6) その他
5. 議長退任
6. 記念講演 15:10~16:55
長崎政直さん
「フィリピンでの活動」
沖野外輝夫会長
「なぜ諏訪に来ることになったのか」
7. 閉会 17:00
懇親会 霽石にて

記念講演(1) 長崎政直さんの「フィリピンでの活動」

長崎さんは諏訪湖ロータリークラブの国際奉仕財団/国際奉仕委員長長の重職にあり、多くの取り組みをされてきたことについて報告を頂きました。

セブ・マクタン島での諸活動が続いていきます。〈現地視察〉に始まり、〈古着回収・スクワターに住む人たちへの提供〉、〈食料・薬品の提供〉、〈ロータリー財団のマッチンググラントを利用したクリーンウォータープロジェクト：井戸掘削・再生改修事業〉、ロータリアンによる〈ジブニー事業〉、〈奨学生支援〉、〈デイケアセンター(保育園)支援〉、〈鍵盤ハーモニカ事業：フィリピンの子ども達に音楽を、日本の子ども達に国際理解と親善を・・・事業〉がなされています。

28期(2012年～)からはミンダナオ島、ミンダナオ子ども図書館支援が始まりました。〈現地視察・調査〉には始まり、〈運営資金の提供〉、〈デイケアセンター建設資金の提供〉、〈井戸掘削・水供給事業〉、〈水田購入資金援助〉、〈つつじヶ丘学園の子ども達とミンダナオ子ども図書館の子ども達を繋ぐ事業〉等がなされてきました。 諏訪湖ロータリークラブ会報より



1 諏訪湖ロータリークラブ 国際奉仕委員会
セブ島の子に音楽学習を

記念講演(2) 沖野外輝夫会長「なぜ諏訪に来ることになったのか」

■戦前・戦後の激動期

1937年 東京都文京区麴町に生まれる

1945年 4月 本郷区立昭和国民小学校2年生 栃木県馬頭町に学童集団疎開

1955年 狛江町に移住 都立小山台高校卒業

兄と共に歌声活動「すみれコーラス」立ち上げ

■大学生活から研究生へ

1960年 都立大理学部在籍 卒論「河川の生物生産力研究」(多摩川)

1962年 財団法人資源科学研究所助手

1964年 国債生物学事業計画 IBP研究(湛水部門・諏訪湖チーム)

1967年 諏訪湖研究開始 ~1972年 IBP報告

■野村総合研究所(シンクタンク設立の夢を目指して)

1970年 野村総合研究所に転職

1971年 学位論文により学位取得/日本植物学雑誌に論文掲載

■貧弱な施設、貧しい研究生生活への復帰

賢人会メンバーの社長を説得した「すわ?鎌倉…

1973年 信州大学理学部付属諏訪臨湖実験所(助手)転職
諏訪湖プロジェクト(共同研究)開始



長野日報新聞掲載記事

総会通知返信ハガキに記載されていた会員の近況です

鮎沢光昭さん(岡谷市)

いっそうのご活躍を祈念申し上げます。

雨宮伊織さん(富士見町)

ホームページに掲載する情報がありましたらご気楽におっしゃってください。よろしく願います。

安斉聡さん(横浜市)

ナノバルブの社会実装に向けて日々技巧精進に務めております。

井川竜太さん(諏訪市)

団体予約があり、残念ですが参加できません。次回以降よろしく願います。

大江誠一さん(諏訪市)

ローマクラブのレポート「成長の限界」を世に問うて半世紀、人類はこのかけがえのない地球をどう歩むというのでしょうか。

小口良平さん(岡谷市)

活動を応援しています。これからもよろしく願います。

奥原正夫さん(茅野市)

この度諏訪東京理科大学を定年退職しました。これを機に諏訪湖諏訪湖クラブを退会させていただきます。長い間いろいろと勉強させていただきありがとうございました。クラブのご盛会を祈念しております。

金高茂昭さん(佐久市)

私もあと1年以内に後期高齢者になります。まだ全て非常勤ではありますが、16の職場で働いております。来年度からは楽になります。

谷辰夫さん(千葉県我孫子市)

皆様お元気で御活躍の御様子うれしく思います。

戸田任重さん(茅野市)

ご発展をお祈りします。

中島恵理さん(富士見町)

今後の活動の発展に期待しています。

村松健敏さん(茅野市)

オオワシグルのお話を頂き、ありがとうございました。春から秋まで週末は農作業に追われるため、自然とゆっくり触れ合う余裕がありませんが、今後少しづつ機会を増やしていきたいと思っています。

浜美和子さん(諏訪市)

送っていただく資料はいつも興味深く読んでいます。

宮坂清さん(諏訪市)

グルの絵本、ぬくもりがあり、とてもよいですね。

宮下克彦さん(諏訪市)

諏訪湖創生ビジョンが改定されました。より良い方向にさらに支援していきますので、なんでも連絡してください。

矢崎美枝子さん(諏訪市)

名前ばかりの会員で申し訳ありません。諏訪湖クラブニュース楽しみにしています。

山田文雄さん(諏訪市)

出席できず申し訳ありません。皆様の活動を応援できればと思います。

【第1号議案】

令和4年度（2022年度）事業報告
（令和4年4月～令和5年3月）

1. 令和4年度諏訪湖クラブ定期総会の開催

令和4年6月5日（日） 諏訪市駅前交流テラス すわチャオ会議室3
当日出席 17名（委任状36名） 懇親会「雫石」
令和3年度事業報告及び令和3年度会計報告 …承認
令和4年度事業計画（案）、および令和4年度予算（案） …承認

2. プロジェクト活動他

6月5日（日）全国水質一斉調査に参加（諏訪湖・天竜川水系等）
第1回 平成16年6月6日以降17回皆勤
諏訪湖・天竜川水系約30地点を担当

6月9日（木）10時～ 静岡大学附属浜松中学「しなの体験学習」
に協力 諏訪駅前すわチャオ和室会議室
（生徒8名のインタビューに対応） →写真-1

6月25日（土）第1回諏訪湖トライアスロンスタッフとして参加
諏訪湖トライアスロン753名の参加 スイム2km、自転車
78km、ラン20km 計100km

ボランティア活動 諏訪湖クラブ担当 高島城城内

8月4日（木）下水道の市民会議発表会（オンライン開催）

豊かな諏訪湖を目指す諏訪湖クラブ 発表 井上祥一郎氏

9月29日（木）令和3年度「元気づくり支援金事業」諏訪地域優良
事業に「諏訪湖に学ぶ」が選ばれる。

(1) 冊子（オオワシ「グル」の記録）の作成

(2) 放映番組のDVD化

10月1日（土）13時30分～

諏訪湖の日のイベントとしてYou Tube ライブ配信

「下水道の市民科学」活動に協力。

「うんち君の旅」を作成、四賀小学校出前授業、LCVで放映、
ビデオ作製 →写真-2

12月22日（木）諏訪地域振興局県民参加型予算「諏訪の湖には魚多し」復活プロジェクト」に応募

令和5年

2月18日（土）18時30分～諏訪防災ネットワーク

場 所；いきいき元気館3F 交流広場 湖南防災連絡協議会の取り組みを紹介 八幡義雄理事

2月28日（火）9時30分～ 静岡大学附属浜松中学「しなの体
験学習」に協力

場 所；諏訪市中央公民館会議室

参 加；静岡大学附属浜松中学 男子4人女子7人計11人

諏訪湖クラブの取り組みを中心に意見交換がされた

→写真-3

参加している委員会等

天竜川流域土砂総合管理計画（上流部会検討委員会委員）

諏訪防災ネットワーク（会長 小池玲子）

諏訪市環境審議会（会長 宮原裕一）



写真-1 浜松中学生学習会の様子



写真-2 LCVの放映の様子



写真-3 意見交換会の様子

美しい環境づくり諏訪地域推進会議（委員 沖野外輝夫）

諏訪市女声ネットの会（金子田美副会長）

支援している取り組み

諏訪東京理科大学 市川純章教授 地域活動計画

信州ネットSUWA

信州大学臨湖実験所 宮原裕一准教授 陸水学に関する基礎的研究

下水道の市民科学 井上祥一郎 第8期諏訪湖水質保全計画他に意見書提出

3. 諏訪湖に関する長野県水環境関係の見直し事業に協力

1) 第五次長野県環境基本計画

令和5年度から5カ年計画、基本計画の中で「水環境の保全」を第七次長野県水環境保全総合計画と位置付ける。

2) 第7次長野県水循環保全総合計画の見直し。（令和5年度から5カ年計画）

3) 長野県における湖沼環境類型指定

県内では39河川、15湖沼が類型指定されている。

4) 第8期諏訪湖水質保全計画（令和4年度を計画期間の初年度とする5カ年計画）

5) 諏訪湖創生ビジョンの見直し。

諏訪湖創生ビジョンは5年毎に施策を見直すこととしており令和4年度が5年目にあたる。

4. 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局として活動に参加

「諏訪湖通信」作成に協力 月1回発行 46号～57号

令和4年度は諏訪湖創生ビジョン改定に向けての取り組みに参加

5月27日（金）第8回推進会議

7月26日（火）諏訪湖創生ビジョン改定ワーキンググループ立ち上げ

9月6日（火）第2回改定ワーキンググループ

10月31日（月）第3回改定ワーキンググループ

11月28日（月）地域懇談会 諏訪合同庁舎講堂

阿部知事オンラインで参加

1月25日（水）第4回改訂ワーキンググループ

2月6日（月）第2回地域懇談会 伊那合同庁舎

天竜川流域の環境保護団体他



改定ワーキンググループ発足

5. 理事会の開催

毎月原則第3日曜日にスマートレイク事務所（諏訪市清水2丁目1-4）で開催

令和4年度は第144回～第154回 計11回実施

令和4年 4/17、5/22、7/17、8/21、9/19、10/16、11/20、12/18

令和5年 1/15、2/19、3/19

（理事会での検討内容については、諏訪湖クラブニュースに掲載）

6. 諏訪湖クラブニュースの発行

令和4年度は3回発行 32号より八幡義雄理事の編集により新装発行

【32号】令和4年9月発行 【33号】令和4年12月発行 【34号】令和5年1月発行

7. 諏訪湖クラブホームページの開設、運営

（株）ピーチャー（雨宮伊織氏）に依頼し、運営中

クラブ会報/ 諏訪湖クラブニュース

活動報告/ これまでに掲載された冊子等

「諏訪湖に学ぶ」A4サイズ72ページ

令和2年10月

「オオワシ『グル』の記録」 A4サイズ72ページ

令和4年1月

「オオワシと鳥きち爺さん」 A4サイズ36ページ

令和5年4月

【第2号議案】

令和4年度 会計報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

<収入の部>

単位:円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	448,006	448,006	0	前期期よりの繰越金
会費	195,000	198,000	3,000	正会員 66名分
雑収入	2	500	498	冊子販売
合計	643,008	646,506	3,498	

<支出の部>

科目	予算額	決算額	比較増減	備考	
事業費	諏訪湖保全	50,000	33,316	△ 16,684	クリーンプロジェクト、諏訪湖の日
	自然エネルギー	5,000		△ 5,000	
	まちづくり	50,000		△ 50,000	
	大会・総会費	10,000	8,200	△ 1,800	会場費、講師謝礼
	小計	115,000	41,516	△ 73,484	
事務経費	事務費 事務委託費	30,000		△ 30,000	
	印刷代	30,000	39,735	9,735	諏訪湖クラブニュース
	通信費	30,000	30,665	665	郵送料・はがき代・振込手数料
	その他	50,000	41,000	△ 9,000	負担金:NPOスマートレイク賛助年会費 31,000円 美しい環境づくり諏訪地域推進会議会費 10,000円
	小計	140,000	111,400	△ 28,600	
合計	255,000	152,916	△ 102,084		

収支差額	388,008	493,590	105,582	次期繰越金
------	---------	----------------	---------	-------

令和4年度 諏訪湖クラブ監査報告

令和4年度 諏訪湖クラブ会計決算について、監査の結果、収入・支出には不適切な
かつ 帳簿の整理および証票書類の保管状況も良好であると認めたと報告します。

令和5年 5月 25日

監事 井上 祥一郎 (印)

【3号議案】

諏訪湖クラブ役員改選（案）

令和5年度～令和6年度

役 職	氏 名
会 長	沖野 外輝夫
副会長	小林 聖仁、金子 田美、宮原 裕一
専務理事	長崎 政直
理事（庶務・会計）	高木 保夫
理事（広報）	八幡 義雄
理 事	谷 辰夫
理 事	長崎 功
理 事	五味 光一
理 事	鴨志田 明子
理 事	山村 宜男
理 事	宮坂 平馬
理 事	市川 純章
理 事	田代 幸雄
監 事	井上 祥一郎、宮坂 平馬
顧 問	鮎沢 光昭、中島 恵理

【第4号議案】

令和5年度 事業計画（案）

1. 令和5年度総会の開催（令和5年6月4日2時30分～諏訪市駅前交流テラス「すわっチャオ」）
2. 定例理事会の開催（原則として毎月第3日曜日、拡大理事会として開催）
3. プロジェクト活動

1) 諏訪湖保全研究・事業

- ・全国一斉水質調査（令和5年6月4日への協力（顧問、現地調査））
- ・二枚貝養殖研究は中断
- ・「諏訪湖底層貧酸素化対策」実験、事業の推進
- ・諏訪湖淡水シジミ復活作戦への協力、支援
- ・一般向け諏訪湖読本「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」の続編の企画、編集
- ・地域発元気づくり支援金事業（令和5年度）「諏訪湖に学ぶ」
①諏訪湖の水生植物 A4 サイズ 32 ページ 6,000 部/②ウンチ君の旅 B5 サイズ 16 ページ 5,000 部/③紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」 B4 サイズ 12 ページ 120 部/④諏訪湖の治水に繋がる釜口水門 A4 サイズ 24 ページ 6,000 部 総額 833,785 円、支援金 667,000 円決定
- ・下水道展・下水道研究発表（8月1日～3日）「ウンチ君の旅」オンラインで参加予定
- ・諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加、運営への協力（事業の点検、見直し）
- ・天竜川流域土砂総合管理計画に協力（上流部会検討委員会委員）

2) 自然エネルギー活用計画の推進

- ・「信州ネット SUWA」活動への協力
- ・地産地消事業/環境保全型農業への支援

3) 諏訪圏域まちづくり計画への支援

- ・美しい環境づくり諏訪地域推進会議への協力（運営委員）
- ・諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加、運営への協力（推進会議事務局に参加）
- ・諏訪湖通信の作成・発行 1回/月 令和5年5月22日発行 59号
- ・諏訪市環境審議会への協力
- ・「諏訪市女声ネットの会」、「諏訪市いきいき市民推進チーム・輝く SUWA」等の活動に協力
- ・すわ防災ネットワーク活動への協力
- ・すわまちクラブ活動への協力
- ・(国) 信州大学、(公) 諏訪東京理科大学の教育・研究活動に協力
- ・諏訪圏工業メッセへの協力
- ・その他会員の諏訪圏域まちづくり計画への支援 下水道の市民科学（井上祥一郎氏）

4. 講座、講演会、環境事業の開催と支援

- ・諏訪湖環境保全セミナー、講演会等の開催（他団体との協働）

5. 会報の発行と新規会員の獲得

- ・諏訪湖クラブニュースの発行 4回/年 34号（令和5年1月）、35号（4月）、36号（7月）
37号（10月）発行予定
- ・諏訪湖クラブの将来計画の検討（検討チームを立ち上げ）
- ・ホームページの充実と活用

6. その他、クラブの目的に沿う事業

豊かな湖を取り戻す「自治体連携（茨城・長野・滋賀・鳥取・島根）」官民共同で推進活動
富士フィルム・グリーンファンド活動助成事業に応募（令和5年5月8日）
現地調査、意見交換実施、各地域の取り組み報告書作成他 総額 690,220 円

【第5号議案】

令和5年度諏訪湖クラブ予算（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日まで）

〈収入の部〉

科 目	前年度決算額	予算額	備 考
前期繰越金	448,006	493,590	前年度の繰越金
会費	198,000	195,000	会員65名分
元気づくり支援金	0	667,000	作成費用、冊子(3)、紙芝居(1)
雑収入	500	410	銀行利息等
収入合計	646,506	1,356,000	

〈支出の部〉

科 目	前年度決算額	予算額	備 考	
事業費	元気づくり支援金	0	冊子「水生植物」作成費他	
	諏訪湖保全	33,316	100,000	自治体連携取材費他
	自然エネルギー	0	5,000	
	まちづくり	0	50,000	
	総会費	8,200	10,000	謝礼他
	小計	41,516	998,785	
事務経費	事務費	0	理事会会場費他、インク代	
	印刷代	39,735	60,000	諏訪湖クラブニュース他
	通信費	30,665	40,000	郵送費、ハガキ代、振り込み手数料
	その他	41,000	50,000	各種負担金
	小計	111,400	180,000	
予備費	0	177,215		
支出合計	152,916	1,356,000		
差引金額	493,590	0		

砥川の河口の砂洲に多くの渡り鳥やってきた 資料提供/日本野鳥の会諏訪支部

諏訪湖の砥川河口に形成された砂洲は渡り鳥にとっては絶好の休憩所。オオソリハシシギが諏訪湖、砥川にできた洲に降り立ったのは2022年10月11日。ここで10月17日までの一週間、羽を休めて再び飛び立っていきました。

繁殖地のアラスカから赤道を超えオーストラリアやニュージーランドへの1万キロ以上の長旅をします。日本海沿岸から本州を横断して太平洋側に抜けていく渡り鳥にとって諏訪湖の環境は適しているようです。ここに砂洲が形成されてからの短期間で県内初確認、国内でも数えるほどしかない鳥類が複数飛来していることから証明されています。



浅瀬で2枚貝を捕食
オオソリハシシギ

浅瀬で二枚貝を捕食する
オオソリハシシギ



遠くに岡谷の長野道高架橋を望みながら
オオソリハシシギ

遠くには岡谷高架橋をバックに
餌を探すオオソリハシシギ



砥川の河口にできた砂洲を上空から 形状 200m×200m
砂洲の形状から、諏訪湖の流れが釜口水門に向かっている
ことがわかります



諏訪湖では長年見られたことの無かった複数、種類のシギ類の飛翔風景です。

諏訪湖で長年見られなかった複数のシギ類の飛翔風景



チドリ/2022年はこの洲で子育てをしました。

コチドリはこの砂洲で
子育てをした

砥川の砂洲で見られた鳥たちは32種 ◎は10羽以上確認した野鳥

年 度	令和3年(2021年)		令和4年(2022年)	
季 節	春	秋	春	秋
種類数	8	10	13	19
主な鳥名	キアシシギ◎ ムナグロ セイタカシギ ホウロクシギ イソシギ キョウジョシギ トウネン	トウネン◎ キアシシギ ソリハシセイタカシギ イソシギ オバシギ ミユビシギ サルハマシギ ハマシギ アカエリヒラアシシギ メダイチドリ アオアシシギ	コチドリ◎ キアシシギ◎ シロチドリ ホウロクシギ ソリハシシギ イソシギ キョウジョシギ トウネン ウズラシギ 他	トウネン◎ アカエリヒレアシシギ メダイチドリ ウズラシギ ハマシギ タシギ オジロトウネン オオソリハシシギ ダイゼン イカルチドリ アオアシシギ 他



メダイチドリ



ホウロクシギ



アカエリヒレアシシギ



ウズラシギ



セイタカシギ



ウズラシギ



ハマシギ



タシギ



ソリハシシギ



浅瀬で赤虫を捕食するオジロトウネン



キアシシギ



アオアシシギ

砥川河口で見られる主な渡り鳥

●ラムサール条約について

1971年にイランのラムサールで開かれた会議で作られた条約で、正式には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」という。つまり水鳥が休んだりえさを取ったりするのに大切な湿地を保護するための国際的な取り決めで、2008年現在150か国が加盟している。でも残念なことに長野県は一つもない。

(1)夏鳥

春にやってきて繁殖する夏鳥

オオヨシキリ、ヨシゴイ他

オオヨシキリは、諏訪湖でもよく見られる鳥で、
鳴き声に特徴がある



オオヨシキリ



首が伸びるヨシゴイ

(2)冬鳥

北国で繁殖し激しい冬を逃れてやってくる冬鳥
コハクチョウ、マガン他



挨拶をしているところです

(3)旅鳥

夏は、北で繁殖期を過ごしそのあと南下して
赤道を超え、南半球で春を迎える鳥は約1万キロ
の旅をする。 シギとチドリなど

シギとチドリの違い

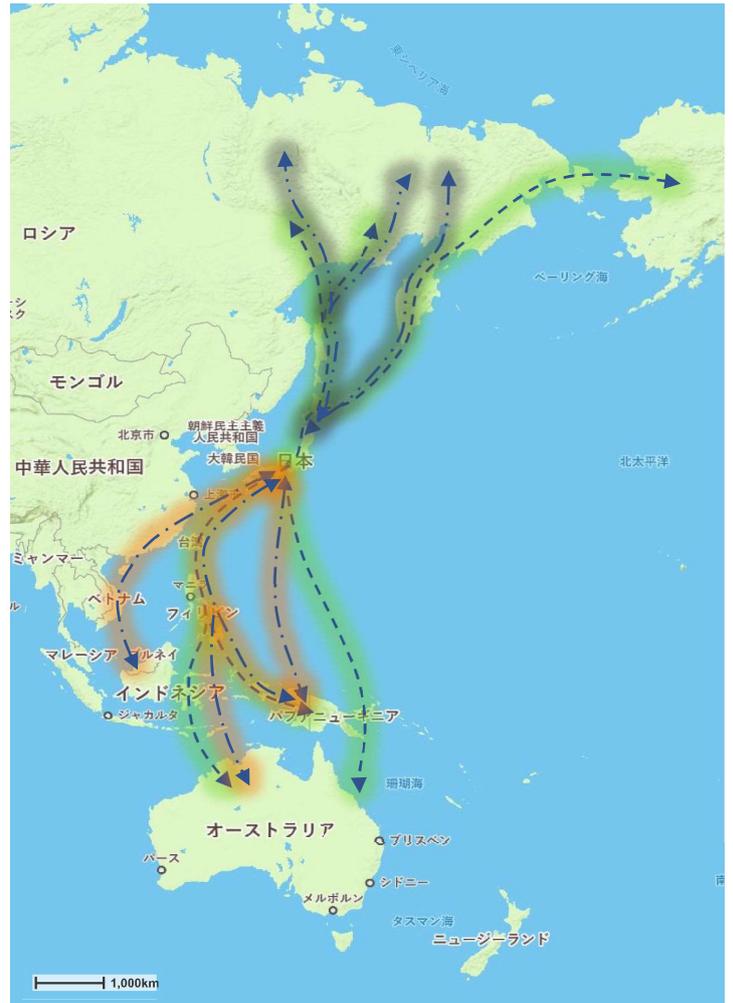
チドリは後祉が無く、歩く姿がぎこちない。

チドリ足はここからきた。



諏訪湖で多く見られるキアシシギ

諏訪湖に飛来する鳥のコース



凡例	
	夏鳥 オオヨシキリ ヨシゴイ
	冬鳥 ハクチョウ、ガン
	旅鳥 シギ、チドリ

「知って楽しいカワセミの暮らし」が出版されました

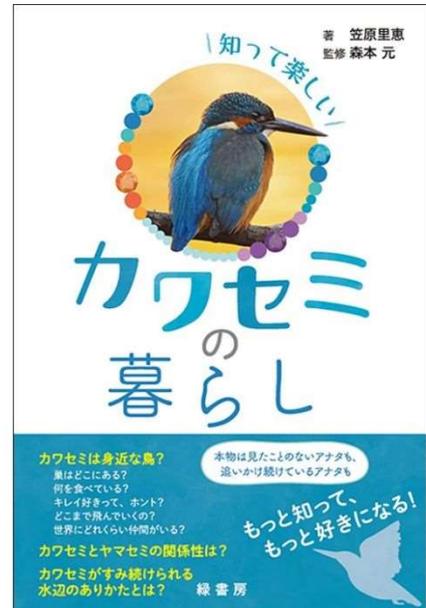
湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所の笠原里恵助教が執筆した書籍『知って楽しいカワセミの暮らし』（328ページ）が、4月5日、緑書房から出版されました。

【内容】

『青く美しい羽にずんぐりとしたユニークな体型、鮮やかな採食行動で多くの人に愛されるカワセミ。』

本書では、カワセミ(類)の基本的な生態、子育て、食事情、渡りについて、わかりやすく紹介するとともに、カワセミが暮らしている水辺の“ご近所さん”である鳥たち、魚たち、そして水辺(河川)環境の変遷やこれからの川づくりについても丁寧に解説。カワセミのことはもちろん、「カワセミたちが暮らし続けられる河川環境」にも思いを巡らすことのできる一冊。(出版社の紹介文を抜粋)』

- ◆多くの人が知るカワセミを中心に、笠原助教が長年フィールドにしてきた千曲川の調査から見てきた、河川での鳥類の暮らしが紹介されています。また、河川生態系を特徴づける増水や、人為的な環境変化をとまなう河川整備と鳥たちとの関係についても言及されています。



書籍の表紙

■ カワセミの生態

種としては世界に広く分布し、日本では、低い山地の川や湖沼をはじめ、都心の池のある公園などでも見ることができます。チーという鳴き声とともに鮮やかな翡翠色の姿が一直線に飛ぶ姿が目につきますが、水辺に張り出したヤナギやヨシ、ちょっとした杭などをよく探してみると、そっと止まって水面を狙っている姿を見つけることができます。露出した土崖に、くちばしと足指を器用に使ってトンネルのような穴を掘って巣とし、奥の産室に卵を産んでヒナを育てます。カワセミの名前の由来には諸説あり、一説には、カワセミははるか昔にソニヤソビと呼ばれていて、古事記に出てくるソニドリはカワセミのことだとされています。その呼び方が長い歴史の中で、ソビー→セビー→セミ、もしくはソビ→ショウビンと変化したとされ、セミもショウビンも、同じカワセミの仲間を意味していると考えられます。また、背が美しいことから、川背美とされたという説もあります。

■ 諏訪湖周辺でカワセミが見られるところ

岡谷市の天竜川岡谷市川岸観光荘付近、横河川の河口右岸から岡谷南高校に寄ったところのヤナギとヨシの藪地、十四瀬川の出先一帯の緑地と諏訪湖ハイツ方面に至るヤナギとヨシの藪地、諏訪市武井田川の緑地帯、宮川の川筋、諏訪市上川の新六斗橋～鷹野橋間の水辺に面したヤナギとヨシ等で見られるそうです。



カワセミのダイブ (著作権フリー画像集より)

■ 書籍「カワセミの暮らし」の購入について

いつまでも対応できるわけではないのですが、7月中に注文をいただければ、定価 2,200 円(税込 2,420 円)のところ、著者割価格 2,000 円(税込み)で購入が可能です。

購入を希望される方は、諏訪湖クラブ事務局 電話/FAX 0266-58-0490 (沖野)に申し込み下さい。

オオワシ「グル」の記録・紙芝居の完成に寄せて

元諏訪建設事務所長 平澤幸雄

オオワシ「グル」の記録・紙芝居の完成、誠におめでとうございます。グルの記録がテレビで放映されたり紙芝居を見せていただき感動しました。林さんには私が諏訪建設事務所長時代に大変に野鳥の保護についてご指導をして頂きましたので、その思い出等を感想を含めて書いてみたいと思います。

○子どもの頃の私と野鳥の関り

私が子供の頃、昭和20年代は終戦直後で、大変に食糧事情が悪い時代でしたので様々な鳥の味や卵の色を未だに覚えております。今の時代の野鳥の会の皆様からは、大変批判を頂く内容ですが国民全員が食糧難でしたので、何の罪悪感もありませんでした。味のまずいのはムクドリでスズメやツグミは美味しかったです。ムクドリの卵は水色でとても奇麗でしたが、木の穴に巣を作っていて、卵を取りに巣穴に腕を入れて撮ろうとした時に何か冷たいものを触りビックリしました。ヘビが卵を取りに入っていたのでした。

また、あらゆる鳥を飼いましたし、鳥もちを作って捕獲し飼いました。スズメ、カワラヒワ、ヤマガラ、シジュウカラ等をヒナから飼いましたし、トビ、フクロウ、カラス等大きくなる鳥も幼鳥から飼いました。

トビやフクロウは生肉が必要でしたので大変でした。カエルやヘビを捕り輪切りにして与えましたがとても足りませんでしたので、近くの魚屋さんお願いして頭や、尻尾や内臓等与えましたので生き延びて成鳥になってから山に放してやりました。フクロウの雛は簡単に捕獲できましたがトビの雛の捕獲は命がけでした。大木の高いところに木の枝で大きな巣を作って在り、登って巣にたどり着くのに命がけでした。加えて親のトビが仲間を呼んできて私たちに攻撃を加えて来ました。このような経験から野鳥の習性やすみ分け等を自然の中から覚えていましたので、成人になってもある程度野鳥は見分けることが出来ました。今の時代では考えられない私の実体験です。

○土木工事に関する職員の研修実施

私が諏訪建設事務所に勤務したのが平成4年、5年の2年間でした。職員が勤務する諏訪地域は道路事業、河川事業、砂防事業、都市計画事業等多方面にわたり実施していましたが、ほとんどの職員が諏訪地域の出身者でなかったため、まずは様々な地域特性を承知したうえで各現場の計画設計や監督をするべきと考えて、職員研修から実施しました。まず、諏訪地域の地質特性、諏訪湖を中心とした魚貝類の習性や種類、生息を知る為、所長室に諏訪湖の魚を諏訪湖漁協にお願いして水槽で飼いました。魚介類や野鳥の写真をも所長室に展示して知識を得ました。測量設計業者と建設事務所の職員合同を対象に魚介類や野鳥の習性などについて専門家の先生から講習会を開催して頂き、基礎知識としました。私の考えは、地元のごとは地域から学ぶべきとの考えが基本との思いからでした。



所長室に置かれた水槽

○諏訪湖の氾濫防止工事のコンクリート波返しに批判

当時は土木工事で完成しているコンクリート構造物に対して、環境や景観の観点から、大変批判を浴びた時代でした。そんな中でも諏訪湖の周辺に治水上観点から地域要望を受けて施工したコンクリートの波返しが問題視され、壊せとの運動が起きておりました。私の所長室にも、代表の皆さんが強い口調でコンクリート波返しを取り壊せと申し入れてきました。経過的には過去の諏訪湖氾濫による周辺の氾濫防止の対策として、地域住民の了解の上で行ったものでした。

軟弱地盤での困難な工事で技術検討の結果、長期間にわたり実施してきて湖周全体にわたり完成まぢかになっておりました。

時代的な変化によるニーズなどを踏まえて、何か良い工法が無いか職員で知恵を出し合った結果、せっかく完成したコンクリートの波返しを壊すことは、初期の目的が果たせなくなる、従ってコンクリートの波返しを浚渫土で包み込み葎（よし）を法面に植栽すれば、強度も保ち景観も保持できると判断し、施工することが決定しました。ここでも野鳥に配慮することができました。

○野鳥に対する土木工事への配慮に林さんから指導

上川の枯れた葎原で火災が発生し、白虎稲荷の樹木に火が移り大騒ぎとなり、河川管理者である諏訪建設事務所に苦情が殺到しました。上川はカヤネズミの生息場所であり、また、諏訪湖漁協からは葎が諏訪湖に流れ着き魚とりの網にかかり困るから刈り取って欲しいと言われました。また、ヨシキリ等の野鳥が巣を作って繁殖場所に行っているなど複雑な問題を抱えており困った結果、林さんに相談しました。上川を諏訪湖から上流まで歩いて指導を受けました。

結論は、上川の流水側から5メートル両岸のヨシ原を残し、それ以外は刈り取ることで了解いただきました。これは、野鳥のブラインド出来る場所を残すため、更にヨシ原と流水際両岸に木杭を設置する事。これは野鳥が休む場所と魚を捕る為の場所を確保すると指導を受けた為、その様に実施する事としました。木杭は、太さが一定でなくて良いとの指示の為に林務課と調整して実施する事としました。林務部から使い道の少ないカラマツの処分にも繋がり、歓迎されました。

今も上川べりを通過する度に野鳥が杭の頭に休んでいる姿が見受けられて嬉しく感じます。

洪崎地籍でもなぎさづくりで法面を階段状に杭を施工したる水際に置石をして魚巢にし、野鳥の餌場となったり、少し沖に木工沈床を作り波よけと魚巢、野鳥の餌場となり、今も人知れず効果を発揮してくれているのではと思っています。ふれあい渚でも水際に置石を施工し、その基礎には木杭を施工しています。土木工事は土（つち）と木（き）から成り立っていることを思い知らされます。

その後諏訪から県庁の道路建設課長に転勤になり、オリンピック関連の道路計画に携わりました。その際にも、世界に恥じない道路整備を目指し、自然保護に配慮し、必ず野鳥保護や植生保全の考えを計画に取り入れて道路整備を行いました。特に、志賀高原に通じる道路の計画には、事前に表土や植物、樹木等をとっておき、工事後は埋め戻す「表土還元工法」を採用しました。白馬に行く道路等のオリンピック関連道路や競技施設にも応用され、世界からも評価されました。県を退職後大成建設に入社後も諏訪湖のレガッタ会場で大成建設が手がけた浮き消波堤の上に諏訪湖の周辺に自生する、土を必要としないツルヨシ等を植えて、今や野鳥の隠れ家となっていて人知れず嬉しく見守っています。林さんの教えがあったからこそでした。誠に有難うございました。

平澤幸雄さんのご紹介

八幡 義雄 記

平澤幸雄さんは、平成4年と5年には長野県諏訪建設事務所長として諏訪湖に対する工夫をしたいろいろな取り組みをされ、アイデアマンと呼ばれていました。神奈川県土木部に在職していた私が、平成5年4月に割愛制度により長野県に採用して頂き、最初の赴任地の諏訪建設事務所長が平澤幸雄さんでしたので、特に印象深い思い出があります。平澤さんは、諏訪建設事務所の2年間の様々な取り組みをまとめた冊子「温かく夢ふくらむ建設業をめざして」を作成されました。

内容が多岐にわたりその取り組みが優れていたもので、平成6年度に全国建設業協会努力賞を頂きました。



作成された冊子

～～小さな変化——大きな変化～～

副会長 金子 田美

皆様こんにちは。突然ですが、皆様のお庭やお近くで「春の到来」を初めに感じられるのはどんな時でしょうか。我が家では、「福寿草」が咲き始めた時です。「福寿草」って名前もいいですね。石垣のちょっとした隙間にかわいい黄色い花を見つけた時はあの寒かった冬を忘れさせてくれ、心も身体もほんわかとします。



今年も福寿草が咲きました。最初に庭の真ん中あたりで、そして少しづつ庭中に広がっていきます。「春は名のみ・・・」と歌われる通り、まだまだ冷たい風が吹く中、ちょうど陽だまりになっているあたりで福寿草は早春をおう歌しているように思えます。が、皆様もご記憶のように、今年の春の訪れの速さには花たちもびっくり！春の訪れの速さだけでなく、いきなり「夏？」というような日中の気温の急上昇！花たちを一斉に目覚めさせてしまいました。まずは水仙、15、6センチで蕾が膨らみ始め、どんどんと咲き始めていきます。おっとり（笑）構えていた福寿草を追ったてのように自分たちの領域を広げていきます。そこに朝晩の気温の急降下、そして、日中の急上昇。咲き始めた草花たちはたまらないですね。そこに、本来ならずと後でゆっくり咲き始めるはずの花たちが早々にたたき起こされ、あわてて咲き始めます。まるで幼稚園か保育園の子供のかけっこのよう。よーいドン、一斉に、可愛い小さい子供たちが走り出します。距離が短いすから、歓声とともにあっという間にゴール。はい、次のグループ、よーいドン！てな感じ。我が家の庭ではさながら花たちの春？うーん、夏？の大運動会の景色。

こんな様子で、福寿草も例年よりは領域を伸ばせず。強い水仙は少しづつ丈を伸ばし、福寿草の黄色がどんどん水仙の葉に押されて行った感じで、庭全体に広がる「春は黄色」の期間が短かったです。

そしてすべての花が小さな丈で早く咲き始め、そしてあっという間に咲き終わってしまいます。それでも植物は来年に向け栄養を根や球根にたくわえようとするのでしょうか、結構長く葉は元気です。我勝ちに咲き急いでいた花たち、今度はぎゅうぎゅう詰め。一番初めの福寿草も葉を一生懸命広げていました。いつもなら牡丹が遠くからでもしっかり楽しめていたのに、今年はあちこちで勢いよく咲いたルピナス（のぼり藤）に遮られ、ほとんど気がつかないうちに終わってしまいました。

花たちそれぞれが、「まだ私の出番、邪魔しないで！あなた達、早すぎ！」「だって、もう出番って呼ばれたよ！」って、ワイワイガヤガヤ、足の踏み場もない状態で押し合いへし合い。可笑しいと思われるでしょうが春先からずっと庭をみていると今年は花たちのさながらチンドン屋の騒ぎが聞こえてくるような気がするんです・・・

実際今年の草木の季節の先取り状況は日本中の人を驚愕させるものです。皆様もたくさん見聞きなさっていることでしょう。私は3月31日にカタクリが5センチくらいの高さで薄紫のかわいい蕾をつけているのを発見した時は、あまりの早さに正直何だか怖くさえ感じました。5月の連休頃でも年々早くなるな～と思っていましたのに。6月末現在、庭では、お日様をいっぱい受けて松葉牡丹がカラフルに、花魁草（お盆花）が大きな房で濃いピンクもあでやかに、そしてピンクの秋桜が咲き出し、芽をだし例年になく勢いよく成長している大勢の仲間が応援、その名の通り、早、秋の風情！

草木は季節の動きをよく教えてくれます。花は昨年は一ヶ月早かった。今年は二ヶ月早い。もう日本の四季は子供の頃よく歌った童謡の中だけの存在になってきているのでしょうか。梅雨入り宣言があり、雨が降ると、どこかで「線状降水帯」が発生し、災害が発生する地域も。台風は年中襲ってくるのではと思わせるほど早くから日本列島に接近。そのたびに気象予報士の方の「今までに経験したことのない・・・」そんな言葉も聞き慣れてしまい、どこかで聞き流している不遜な自分が・・・

「人間も地球上の生物の一つ。もっと謙虚さがもとめられている。」と！ずいぶん以前に聞いた覚えがあります。

庭に咲く花々に癒されながら、自然の美しさ、有難さ、大切さを改めて考えさせられています。

拝命を受け44年間続けた保護司を退任しました

副会長 小林 聖仁

このほど、任期満了を迎えまして保護司を退任いたしました。保護司在任中に賜りました数々のご厚情に哀心より御礼申し上げます。想えば、昭和54年5月20日付けにて法務大臣より保護司拝命以来44年間にわたる保護司活動を続けてこれたのも、皆様のおかげでございます。さる5月19日に長野保護観察所において、保護司退任式に臨み、法務大臣より感謝状・記念品を頂きました。44年間の保護司活動は過ぎてしまうとあっという間のことでした。しかし、保護司を務めさせて頂いたおかげで多くの出会いがあり、その中で岡谷地区保護司会会長をはじめ、長野県保護司会連合会会長、関東地方保護司連盟会長、更生保護法人全国保護司連盟の役員として組織運営にも関わらせていただき、保護司活動の果たすべき役割について多くを学ばせて頂きました。特に保護司活動は自分の住む街の奉仕活動であることが実感できましたし、人と人が温かい心で支えあう街づくり活動こそ更生保護活動であり、僧侶が担うべき活動だと確信しました。これからも健康であるかぎり自分に出来る範囲の活動を続けたいと思います。

なお、令和3年6月1日付けにて拝命した更生保護法人全国保護司連盟顧問や現在務めている関東地方更生保護事業協会、長野県内の更生保護関係団体等の任務もあります。残された人生を悔いなく過ごしてまいりたいと思います。引き続き変わらぬご指導とご厚誼のほど宜しくお願い申し上げます。略儀ながら寸楮をもってご挨拶といたします。

令和5年5月吉日

小林 聖仁

ながの保護だより（令和2年1月1日発行）の紹介です

令和天皇即位の一連の行事に全国保護司連盟副理事長の立場で小林聖仁氏が招かれ、全国の保護司約48,000人を代表して国や、宮内庁からのご招待を受け一連の行事に参列されました。

■ 即位の礼 令和元年5月1日 平成から令和へ

5月1日、天皇陛下が御即位になり、「平成」から「令和」へと改元されました。御退位に伴う皇位継承は、約200年ぶりです。

■ 即位礼正殿の儀 令和元年10月22日（火）皇居・宮殿（正殿松の間）

一連の諸儀式の中で最も重要な儀式が、天皇陛下が即位を公に宣明し、内外の代表がことごとく儀式である、即位礼正殿の儀です。

10月22日に行われた即位礼正殿の儀には、国内のみならず、外国からも賓客が招待されました。平成の皇位継承の際には、160か国・機関から元首・祝賀使節夫妻などが参列しましたが、今回は、191か国・機関などからの参列がありました。外国からの賓客は、同儀式のほか、饗宴（きょうえん）の儀や内閣総理大臣夫妻主催晩餐（ばんさん）会に出席しました。各国から国王や大統領などが数多く来日し、皇室と世界のつながりが海外に広く紹介される機会ともなりました。



即位礼正殿の儀 記念品



■ 林フク子さんをしのぶ追悼絵手紙展開催

林フク子さんの描いたオオワシ「グル」の絵手紙を通しての縁で、「絵手紙福の会」と一緒に、元気づくり支援金を頂き、紙芝居の「オオワシと鳥きち爺さん」の作成を進めています。

残念なことに紙芝居の企画をして頂いた「絵手紙福の会」を主宰する林フク子さんが、令和5年4月に亡くなって2か月ほど経ちました。このほど「林フク子さんをしのぶ追悼絵手紙展」が教室で教わった有志6名の企画で開催され多くの方が訪れました。

令和5年6月16日～18日

場所 岡谷市中央町の喫茶

「ホットサロン心和」2階展示場

林フク子さんが描いた絵手紙約100点を展示。オオワシ「グル」のコーナーも設けられました。

初日から多くの方が訪れていて、林さんの温かい人柄や前向きな生き方に触れることができ、感動されていました。

林フク子さんのご冥福を心よりお祈りします。



このコーナーはオオワシ「グル」の作品を並べました



紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」のタイトルにも林フク子さんの絵手紙が

2023年(令和5年) 6月16日 金曜日 (2)



故・林フク子さんの温かな人柄に触れられる絵手紙などを展示する絵手紙教室生有志ら

林フク子さんをしのぶ

岡谷 心和で追悼絵手紙展

岡谷市中央町の喫茶「ほつらから愛されていた。昨年12とサロン心和」で16日から、月まで開いていたが体調を崩諏訪地方と辰野町で絵手紙教室「福の会」を主宰していた故・林フク子さん(享年80)を追悼する「林フク子追悼絵手紙展」が開かれる。林さんが描いた絵手紙約100点と、教室生が林さんをしのんで描いた約40点が並ぶ。18日まで。

林さんは日本絵手紙協会公認講師で、定年後に教室を開いた。約100人の生徒が通い、優しい笑顔や人柄で生徒

ら。大判サイズの絵手紙もある。教室生は「先生の優しさと前向きな気持ちがこもった絵手紙。ぜひ多くの方に先生の思いを受け取ってほしい」と呼び掛けている。

入場無料。開場時間は午前11時～午後5時(18日は午後3時まで)。(山岡綾音)

長野日報掲載記事



令和3年10月25日～29日、岡谷湊小学校で絵手紙の展示会をした時のスナップです。左から林正敏さん、大和とし子さん、林フク子さん

タンポポの不思議

理事 八幡 義雄

春になると野原や公園などいたるところでこのタンポポの花が見られます。タンポポの花は一見ひとつの花に見えますが、実は小さな花の集合体。花びらに見えるものの1つひとつが独立した花になっています。がくのように見えるのは総苞（そうほう）と呼ばれる部分で、西洋タンポポはこの総苞が反り返るのが大きな特徴です。



タンポポと綿毛

タンポポの名前の由来

諸説ありますが、有名な説のひとつが、和楽器の鼓が由来になったという説。タンポポの総苞を割くとくると反り返ります。この姿が鼓に似ていることで「鼓草」と呼ばれるようになり、鼓を叩いたときの「タンタン、ポンポン」の音から名前がついたといわれています。

西洋タンポポと日本タンポポの違い

区 分	日本タンポポ	西洋タンポポ
写 真	 花の下の総苞が反り返っていない	 花の下の総苞が反り返っている
種 類	カントウタンポポ、カンサイタンポポ、シナノタンポポ等 15 種	セイヨウタンポポ、アカミタンポポ等 中央アジアや地中海など世界で 2,000 種
増やし方	仲間の花粉が必要、近くに仲間がいないと種ができない	自分の花粉で種ができるので一人で増える、どこでも増える
生 活	春花が咲き種子をつける、夏は力をためるため眠り ^{※1} 、秋に芽を出す、季節の変化に対応	春も夏も花が咲く、夏はねむらないので種が落ちるとすぐ芽をだす、仲間をふやすスピードが速い
環 境	自然豊かなところ	街中でもオーケー

西洋タンポポは、このように増える仕組みが優れているため、野原などで見られる多くのタンポポは西洋タンポポです。

■タンポポの知恵

背伸びするタンポポ

タンポポの種子は、風により遠くに運ばれる風媒花（ふうばいか）です。

花が咲く時は背が低いです。咲き終わると種子が飛びやすくなるため、茎が 10cm 位伸びてきます。すばらしい生態です。



背を高くして飛びやすくした綿毛

注^{※1}日本タンポポの夏の休眠

日本タンポポは背丈が低いため、近くに繁茂する植物があると、その植物の影になり、十分な光合成が出来なくなります。そのため日本タンポポは、夏の間は、葉を落とし、それまでに蓄えた栄養の維持に徹します。

近くで日本タンポポが見られるところ

岡谷市の成田山蓮華不動院（岡谷市成田町 1 丁目 6-45）の周辺で日本タンポポが見られます



蓮華不動院に咲く日本タンポポ



蓮華不動院位置図

理事会報告

第155回 日時：令和5年(2023)4月16日(日)午前10時00分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野 金子 宮原 長崎(政) 高木 八幡 鴨志田 山村 宮坂(平) (9人)

内容：

- 1) 定期総会の講演
長崎政直さん/フィリピン
- 2) 諏訪湖創生ビジョン
異動で戻られました 企画課長 伊藤笑子さん 環境課長 田辺皇子さん
- 3) しゅんせつワーキンググループ発足
4月28日(金) 沖野、八幡、宮坂(平)、山村、田代 参加予定
しゅんせつの経緯、治水のためのしゅんせつから始まった。平成15年度公共事業再評価で中止に。
- 4) 諏訪湖クラブニュース35号配布 A4サイズ8ページ 150冊印刷
- 5) 紙芝居「オオワシと鳥きち爺さん」下諏訪南小学校学童教室で試行

第156回 日時：令和5年(2023)5月21日(日)午前10時00分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野 宮原 長崎(政) 高木 八幡 宮坂 田代 市川 (8人)

内容：

- 1) 諏訪湖クラブ定期総会 令和5年6月4日(日)2時30分～
諏訪市駅前交流テラス すわチャオ会議室3
5月16日往復ハガキ発送 5月29日までに返事
総会資料作成 事業/八幡 会計/高木
- 2) 諏訪湖のしゅんせつについて
砥川の河口に発生した砂洲に渡り鳥がやってきた (八幡資料)
砥川の土砂を西側に移動して砂洲を形成
- 3) 全国一斉水質調査
6月4日(日)沖野、田代、高木
信州大学、東京理科大学学生も参加
- 4) 富士フィルム助成金 5月8日出願 五県連携の取り組み
- 5) 諏訪湖の魚介類の生態系に変化 ナマズが頂点→ブラックバスが増えた
- 6) ウンチ君の旅 教職員研修
6月13日14:30～中洲小学校
- 7) 信州大学臨湖研究所 一般公開 7月1日～

令和5年度諏訪湖クラブ定期総会

日時：令和5年6月4日(日)午後2時30分～

場所：諏訪市駅前テラス すわチャオ 会議室3

内容：詳細については今月号参照

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

諏訪湖クラブニュース

No.36 令和5年(2023年)7月